

本質的な問い なぜ僕らは働くのか

単元名 生き方学習 ～職場体験～

児童生徒の実態

- 自分の思いや考えを堂々と発信できる力を身に付けさせる必要がある。
- 自分が将来何をしたいのか、はっきりと目標をもっている生徒は全体の8割程度である。
- 学習前に「働く」というイメージを聞くと、「しんどいもの」「お金のため」「生活するため」という漠然とした答えが大半を占めた。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- 自分の考えをしっかりともち、相手に伝えることができる。
- 将来について考える時に、自分にとって何が必要か考えるための指標となる考えをもつことができる。
- 働くことについて、地域の方からのお話や、自分自身の体験を基に、自分なりの考えを具体的にもつことができる。

単元を貫く問い 今の自分にとっての「働く」とは？

【探究課題 自己の将来と「働く」ことの意味】

【第3次】（8時間）

課題 「働く」とは？
～今まで学んだこと、体験を通して～

個別の問い

- 今まで学んだこと、体験したことを通して、今の自分にとって「働く」とは？
- もし、急に大金が手に入ったとき、あなたは働く？

ICTの活用

繰り返し発問

地域との交流

（しかけ）
今まで学んだことを振り返る。繰り返し発問を基にさらに考えを深める。地域の方の話聞き、どの仕事も大切ということを改めて知る。これらを基に、今の自分にとっての「働く」とは何かを考える。

【第2次】（18時間）

課題 「働く」を体験しよう！

個別の問い

- 仕事のやりがいは？
- 仕事の大変なところは？
- そこで働いておられる方々は、何のために（どのような思いで）働いている？

道徳との関連付け

（しかけ）
実際に職場体験を行う。

地域との交流

【第1次】（5時間）

課題 「働く」とは？
～地域で働く先輩方に学ぶ～

個別の問い

- 学習前と学習後どのように考えが変わった？
- 変わった場合には、そのように考えが変わったのはなぜ？

ICTの活用

地域との交流

（しかけ）
自分たちの住む地域で働いておられる、地域おこし協力隊の方や、海洋学博士の方に来て頂き、今の仕事をするに至るまでの経緯、やりがい、大変なことなどをお話して頂く。その話を聞いて感じたことを基に、働くについて考える。

見直しポイント

探究的な学習の過程に沿った単元構成

- ①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
 - ・解決の道筋がすぐには明らかでない課題や、一つの正解が存在しない課題となっているか。
 - ・児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
- ②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
 - ・活動をこなすだけになっていないか。
 - ・児童生徒から問いを生み出すしかけがあるか。
 - ・学習したことを表現する場を設定しているか。
- ③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
 - ・第1次だけで構成していないか。
 - ・第1次のまとめと第2次の課題設定が繋がっているか。